

斗出セル半島ノ南端ヲ野母崎ト云フ、長崎ハ此半島ノ地頸ニ在リ、九州ノ南端ニハ薩摩・大隅兩州ノ半島アリ、其間一ノ内海ヲナス、是レ即チ鹿兒島灣ニシテ、沿岸凡五十里、薩摩ノ開聞岬、大隅ノ佐多岬ト相竝ヒテ灣口ヲ扼ス、火崎ハ大隅半島ノ東側ニ在リテ、日向ノ南角都井岬ト相望ミ、其間ニ志布志灣(又有明浦)ヲ擁ス、九州ノ北東海岸ニ至レハ、佐賀、關ノ半島、豐後ノ正東ニ斗出シ、四國ノ佐田岬ト相望ム、其間三里、潮流急駛ナリ、國東山嘴ハ、豐後ノ北東海中ニ突出シ、佐賀、關半島ト共ニ別府灣ヲ抱ケリ、速鞆崎ハ、又門司崎ト稱ス、本島ノ極北ニ在ル岬角ニシテ、長門壇浦ト相對ス、其間ハ即チ速鞆海峽ニシテ、兩岸ノ距離僅ニ五町十四間ナリ、(港津)港津ノ著名ナルモノ長崎・博多ヲ最トス、長崎ハ我邦五港ノ一ニシテ、肥前ノ西彼杵郡ニ在リ、丘陵三面ヲ繞テ一長灣ヲナス、長

サ凡二里幅一里ニ滿タス、深サ五仞乃至十六仞、灣内波穩ニシテ、碇泊ニ宜シ、博多港ハ、筑前ノ西濱ニアリ、志摩・志賀ノ兩半島相對シテ之ヲ擁セリ、東西二里十三町、南北一里二十六町、深サ四仞ナリ、以上ニ次キテ著名ナルモノハ、豐前ノ門司及小倉港、筑後ノ大川港、肥前ノ佐世保・島原・口ノ津・唐津及名護屋ノ數港、肥後ノ三角港、薩摩ノ鹿兒島港、對馬ノ嚴原港、琉球ノ那覇・運天ノ兩港トス、其佐世保ハ近年海軍鎮守府ヲ設ケテ軍港ニ充ツ、(島嶼)本道ハ大小ノ島嶼極テ多シ、今只其著名ナルモノヲ舉クレハ、肥前ノ北海上ニ壹岐・對馬ノ兩島アリ、日本・支那兩海ノ分界ヲナシ、各一國ヲナス、前者ハ孤島ニシテ、周回三十五里餘、後者ハ南北兩島ニ分レ、南ヲ上島ト云ヒ、周回五十里餘、北ヲ下島ト云ヒ、周回百三十六里、其北端ナル鰐浦ハ、朝鮮ノ釜山浦ト相對シテ、其間纔ニ十五

里之ヲ朝鮮海峽ト云フ。其壹岐トノ間ヲ對馬海峽ト稱フ。肥前ノ平戸島ハ平戸瀬戸ヲ隔テ、北松浦半島ニ接ス。周回凡十四里。中通及福江ノ兩島ハ肥前ノ西方海上ニ在リ。宇久・奈留・久賀ノ三島ヲ合セテ五島ト稱ス。皆肥前ニ屬ス。肥後ノ天草島ハ筑紫海ノ口ニ横ハリ。種子・屋久ノ兩島ハ大隅ノ南海ニ在リ。其南方ニ大島及徳ノ島アリ。共ニ大隅ニ屬ス。薩摩ノ西方海上ニ甌島アリ。上中下ノ三島ニ分ル。薩摩及天草島ノ間ニ長島アリ。共ニ薩摩ニ屬ス。櫻島ハ鹿兒島灣内ニ在リテ大隅ニ屬ス。琉球ハ薩摩ノ南西海洋中ニ斜ニ連列セル大小五十五ノ群島ヨリ成リ。分チテ沖繩群島及先島群島ノ二トス。沖繩島最大ニシテ宮古・石垣及入表ノ三島之ニ次ク伊是那・久米・慶良間・永良部・波照間・與那國・其他ノ群島皆近海ニ散布セリ。

(山岳) 本道山岳ノ著名ナルモノハ豊後國東半島ノ南西ニ當リテ鶴見(五、二四〇)由布(六、五七〇)ノ兩山アリ。鶴見山ハ世ニ名高キ活火山ニシテ、山頂常ニ烟ヲ吐キ、由布岳ハ九州第一ノ高峯ニシテ、其形富士山ニ似タリ。因テ豊後富士ノ名アリ。國ノ西南境ニハ大船・九重等ノ諸山相連ル。肥前島原半島ノ中央ニハ有名ナル熄火ノ温泉岳(四、六九〇)アリ。山麓温泉頗ル多シ。故ニ此名アリ。肥後ニハ北東部ニ阿蘇岳アリ。五峰雲際ニ競立ス。其最モ秀ツルモノヲ高岳ト云フ。海面ヲ拔ク五千二百三十尺。古來著名ノ活火山ニシテ、今尙ホ盛ニ硫烟ヲ吐ク。山麓ニハ温泉瀑布頗ル多シ。之ヲ阿蘇谷ト稱ス。東方日向ノ境ニ江代市房等ノ諸高山相連レリ。日向ニテハ西部ニ石堂山アリ。大隅下ノ境ニハ著名ノ霧島山聳立ス。其最高峰ハ高サ五千五百三十尺。霧島火山脈ノ主峰ニシテ、睡眠火山ニ屬シ。不時ニ轟然鳴動

シテ烟灰ヲ飛ハス。大隅、屋久島ニ宮ノ浦岳(六、三六〇)アリ、九州第二ノ高峰ナリ。薩摩ニハ其半島部ノ南端ニ開聞岳アリ、薩摩富士ト稱ス。櫻島岳ハ櫻島ノ中央ニ屹立セル噴火山ナリ。

(河流) 筑後川ハ又千年川ト云フ、上流ハ豊後ノ日田川ニシテ、源ヲ豊後・肥後ノ山間ニ發シ、筑前・筑後ノ界ヲ過キ、南西ニ迂轉シ、肥前・筑後ノ兩國ニ出入シ、筑紫海ニ入ル、流程三十五里、幅凡六町、我邦三名河ノ一ナリ。故ニ又筑紫二郎ノ稱アリ。

川内川ハ源ヲ日向大隅ノ山間ニ發シ、大隅ノ北部ヲ過キテ薩摩ニ入り、西流シテ海ニ注ク、水源ヨリ河口マテ凡四十六里、本道第一ノ長流ナリ。大野川ハ源ヲ豊後ノ九重山麓ニ發シ、國ノ中央ヲ北東流シ、鶴崎ヲ經テ別府灣ニ注ク、長サ凡三十四里、中流ニ沈墮瀧アリ、雌雄斜ニ相對ス、雄ハ本流ニ懸リ、高サ六丈、幅四十二丈、雌ハ支流ノ此

ニ落ツルモノニテ、高サ七尺、幅九丈、水響遠ク數里外ニ聞ユ、五箇瀨(三十四里)・美々津(三十八〇)・一ノ瀨(三十里餘)及大淀(二十五里)ノ四川ハ、共ニ日向ノ西境ニ發シ、東ニ流レテ日向灘ニ注ク。

以上ノ外、肥後ニ球磨川アリ、國ノ東境ニ發シ、西流シテ筑紫海ニ入ル、此川ハ有名ナル急流ニシテ、富士最上ノ兩川ト合セテ、我邦ノ三急流ト稱ス。豊前ニハ其中央ヲ北流スル山國川アリ、中流ヲ耶馬溪トス。長溪數里、奇石怪岩兀立シテ、風景實ニ奇絶ナリ、賴山陽嘗テ此地ニ遊ヒ、賞シテ海内第一トナセリ。

(湖沼) 本道ニハ、周回三里以上ノ湖沼、僅ニ二個アリ、其一ヲ池田湖ト云ヒ、薩摩半島ノ南部ニ在リ、周回四里二十九町、深サ百三十切ヨリ百五十切ニ至ル。他ノ一ハ、鳴生田池ト稱シ、筑前ノ北部ニ在リ。

(鑛泉) 本道ハ、霧島火山脈ノ本據ナルカ故ニ、鑛泉極テ多ク、ソノ總

數七十餘個處、中ニモ肥後ハ最多ニシテ二十四個處、全ク之ナキハ
 豊前・筑後ノ二國ナリ。鑛泉場ノ著名ナルモノハ、筑前ニ武藏鑛泉ア
 リ、豊後ニ別府・濱脇ノ兩泉アリ。肥前ニ柄崎・古湯・嬉野及小濱ノ數泉
 アリ。肥後ニ山鹿温泉アリ、熊本ヲ距ル北方七里許、其他大隅ニ硫黃
 谷及薩摩ニ湯ノ浦ノ鑛泉アリ。

(平原) 肥筑豊諸州海岸ノ地ハ、概テ肥沃ノ平野ナリ。殊ニ兩肥及筑
 後ニ連亘スル筑紫海沿岸ノ地ハ、九州第一ノ曠野ニシテ、肥後米、肥
 前米ノ產地ナリ。

(氣候) 九州ノ北西部ハ、南ニ連山ヲ負ヒ、北方日本海ニ面セルカ故
 ニ、冬季ハ北西ノ風強クシテ雪モ稍多シ、此ヨリ南部ニ進ムニ從ヒ、
 漸ク暖熱ヲ加ヘ、薩摩・大隅地方ノ如キハ嚴冬ト雖モ、山間ノ外ハ降
 雪極テ稀ニシテ、尙ホ進ミテ琉球群島ニ至レハ、其地熱帶ニ近キヲ

以テ、氣候炎熱、周歲霜雪ヲ見ス。

左ニ本道内、測候所所在地ノ温度及雨雪ノ概況ヲ表示ス。

測候所	最高温度ノ極	最低温度ノ極	平均温度	雨雪水量	雨雪日數
那 霸	三四・四	七・四	二二・四	二五八五耗	二二一日
鹿 兒 島	三四・八	零下六・一	一六・八	二〇九九耗	一六四日
熊 本	三五・八	零下八・六	一五・三	一七二八耗	一五九日
長 崎	三五・七	零下四・九	一五・九	二〇四六耗	一六九日
福 岡	三六・四	零下五・一	一四・五	一六八六耗	一六〇日
嚴 原	三五・八	零下七・八	一四・五	二三三五耗	一三三日

(物産) 農産ノ著名ナルモノハ、肥前肥後ノ米、薩摩・大隅・肥後・肥前ノ
 煙草及大隅ノ櫻島大根、薩摩ノ蜜柑等ナリ。木材ハ、薩摩・大隅ニ多ク、
 屋久杉最モ名アリ。

製造品ハ、織物ニハ、筑前ノ博多織、筑後ノ久留米紵、豊前ノ小倉織、豊



圖ノ造製器陶

後ノ豊後綾、薩摩ノ薩摩紵、大島紬、琉球ノ琉球紵、芭蕉布等アリ。陶器ニハ肥前ノ有田焼、薩摩ノ薩摩焼等アリ。此他筑後ノ生蠟、日向ノ半切、樟腦、薩摩ノ砂糖、阿久根焼酎及七島筵、琉球ノ砂糖、泡盛及朱塗、漆器等、皆有名ナリ。

漁業ハ、各國俱ニ盛ナリ。殊ニ豊後ノ海邊ハ九十九浦ノ稱アリテ、頗ル名アリ。肥前五島ノ鯨獵ハ、土佐、熊野モ遠ク及ハス。而シテ其所産ノ主ナルモノハ、肥前豊後ノ干烏賊、海參、薩摩ノ鯨節等ナリ。

鑛屬ニテハ、大隅、薩摩ヨリ金銀ヲ出ス。石炭ハ其産出額極テ夥シク、

中ニモ、肥前(唐津)ヲ第一トシ、筑前・筑後(三池)豊前・肥後之ニ次ク。左ニ福岡縣外三縣ノ一年間ノ採掘高ヲ示ス(明治二十六年)。

福岡縣石炭

三、三四一、三三〇、八六三斤

長崎縣石炭

七五三、六五〇、二三七斤

佐賀縣石炭

四〇八、一八二、九二三斤

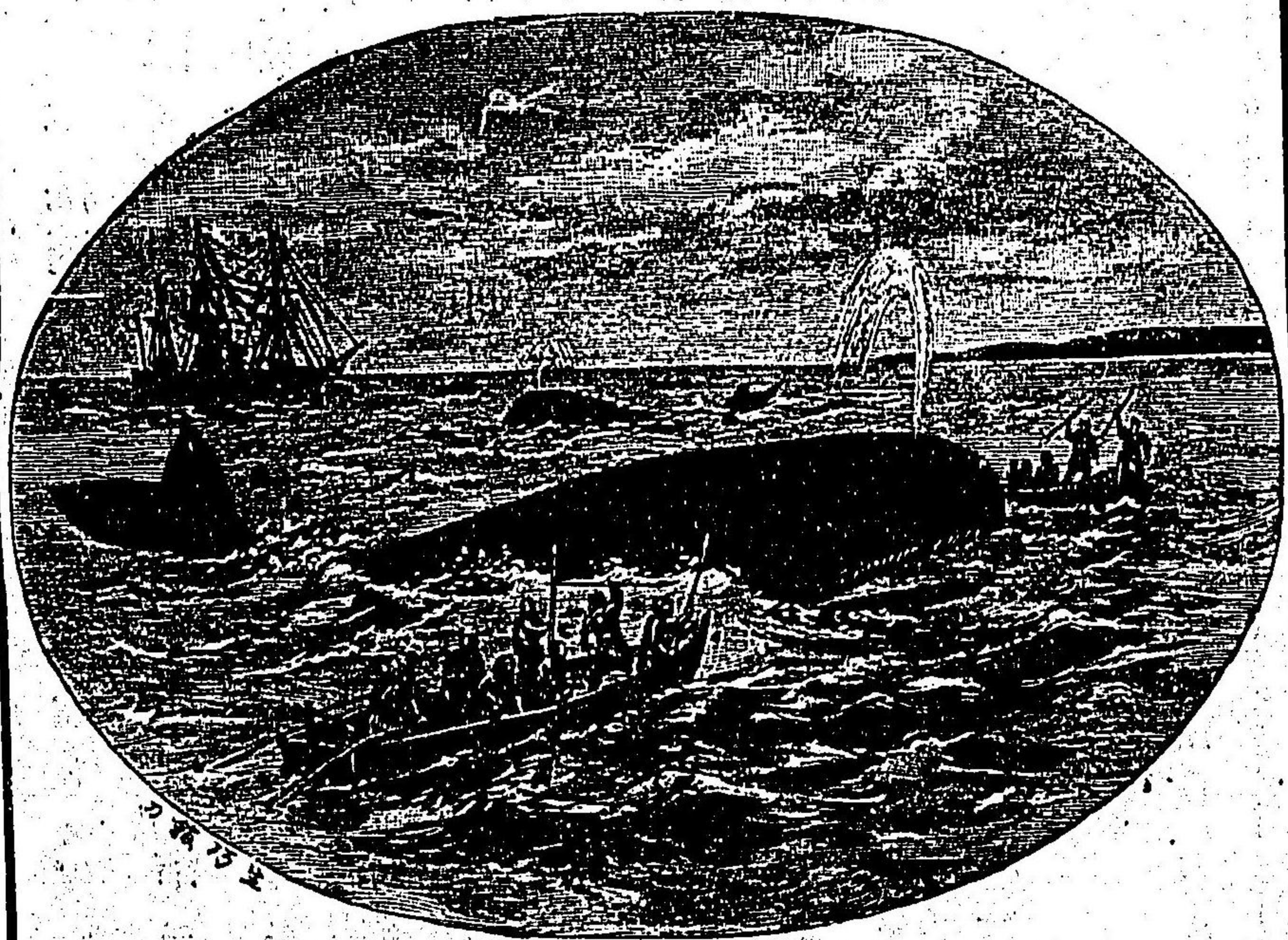
熊本縣石炭

七一、二七九、三二〇斤

鹿児島縣金

五四、九七四匁

圖ノ鯨捕



(都市) 本道都市ノ盛ナルモノ、熊本・福岡・長崎・鹿兒島ヲ最トス。
 熊本ハ、肥後白川下流ノ北岸ニ臨ミ、細川侯五十四萬石ノ舊城市ニ
 シテ、人口六萬二千餘、陸軍第六師團ノ本營及熊本縣廳ノ在ル處ニ
 シテ、市街ノ殷賑九州第一ト稱ス。熊本城ハ、加藤清正ノ築造ニ係リ、
 堅牢ヲ以テ其名高シ。城内ノ錦山神社ハ、即チ清正ヲ祀レルナリ。
 福岡ハ、筑前ノ那珂河口ニ跨リ、人口五萬八千、福岡縣廳アリ、其繁華
 殆ト熊本ニ讓ラス。此地元ト那珂河口ヲ境トシ、西ヲ福岡ト云ヒ、東
 ヲ博多ト稱セシカ、今ハ共ニ合シテ福岡市ト云フ。黒田侯五十二萬
 石ノ舊城市ナリ。此地ヲ距ル南方五里許ニ、有名ナル太宰府アリ。
 長崎ハ、肥前彼杵半島ノ南部ニ在リ、開港場ノ一ニシテ、人口七萬一
 千餘、長崎縣廳ノ在ル處ナリ。
 鹿兒島ハ、薩摩國鹿兒島灣ノ西岸ニ在リ、琉球・神戸間ノ船舶常ニ來

往シテ、商業盛ニ行ハル、人口五萬五千餘、鹿兒島縣廳茲ニ在リ。此地
 ハ島津氏累世ノ居城ニシテ、維新前七十七萬石ノ城市ナリキ。
 以上ノ外、豊後ノ大分、肥前ノ佐賀、日向ノ宮崎ハ、共ニ其縣廳所在ノ
 都邑ナリ。

琉球ニ在リテハ、那覇ハ島中第一ノ都府ニシテ、沖繩縣廳アリ、是ヨ
 リ東ノ方凡一里餘ニシテ、首里アリ、琉球藩王ノ舊城市ナリ。
 今更ニ人口一萬以上ノ著名ナル都市ヲ表示スレハ、左ノ如シ。

筑前	福岡市	五八、三八五人
筑後	久留米市	二七、一〇二人
豊前	中津町	一三、八一七人
	小倉町	一八、二一八人
豊後	大分町	一一、三九五八
	臼杵町	一〇、一七五人

長崎市	七二、六一九人
肥前 佐賀市	二九、二一六人
肥前 佐世保村	一七、九〇二人
肥後 熊本市	六二、六五五人
日向 都ノ城町	一三、一三三人
薩摩 鹿兒島市	五五、六三〇人
琉球 那覇	四二、九七三人
琉球 首里	二五、六八一人

十 北海道

(位置廣袤人口) 北海道ハ、蝦夷島及千島列島ヲ以テ成ル。蝦夷島ハ、廣袤各八十里許、南方津輕海峡ニ由リテ、本州ト界ヲ分チ、南東太平洋ニ臨ミ、北方オホーツク海ニ瀕シ、西北隅ハ宗谷海峡ニ由リテ、露領樺太島ト界シ、西方、日本海ニ臨ム。千島列島ハ、蝦夷島ノ東端ヨリ、

斜ニ北東ニ羅列シテ、太平洋トオホーツク海トノ分界ヲナシ、其最北端ノ占守島ハ、久留里海峡ヲ隔テ、露領甘察加ニ近接ス。全道ノ面積六千九百十九方里〇七、人口三十七萬九千〇九十七人ナリ。但シ本道人口ハ明治二十六年末調査ニヨル)

(區劃) 國ノ數十一之ヲ二區八十八郡ニ分チ、北海道廳ヲ以テ之ヲ總轄ス。

渡島 函館區	函館
六 郡	龜田 上磯 茅部 松前 檜山 爾志
後志 十七郡	久遠 奥尻 太樺 瀬棚 壽都 島牧 歌來 磯谷 岩内
古宇 小樽 高島 忍路 餘市 古平 美國 積丹	
石狩 札幌區	札幌
九 郡	札幌 石狩 厚田 濱益 空知 夕張 樺太 雨龍 上川
天鹽 六 郡	増毛 留萌 苫前 天鹽 中川 上川

- 北見八 郡 宗谷 枝幸 利尻 禮文 網走 斜里 常呂 紋別
- 膽振八 郡 山越 室蘭 有珠 此田 幌別 勇拂 白老 千歲
- 日高七 郡 浦河 沙流 新冠 釧路 三石 襟似 幌泉
- 十勝七 郡 廣尾 常緑 十勝 中川 河西 河東 上川
- 釧路六 郡 釧路 白糠 阿寒 足寄 上川 厚岸
- 根室五 郡 根室 花咲 野付 標津 目梨
- 千島九 郡 國後 擇捉 紗那 根別 藥取 色丹 得撫 新知 占守

(海岸) 本道ハ其狀略斜方形ヲナスカ故ニ岬角ノ主ナルモノ四隅ニ在リ其北方ヲ指スモノヲ宗谷岬ト云フ本島ノ最北端ニシテ宗谷海峽ヲ隔テ、樺太島ノ能取岬ト相對ス其間凡十二里南方ノ山嘴ハ之ヲ襟裳岬ト稱ス岬邊巖礁亂立シ水路ノ危險最モ甚シ東西

兩隅ハ分支シテ一尖角ヲナス其西隅ハ繪鞆岬・神威岬左右ニ擴出シテ南北兩方ヲ指シ渡島半島其中央ヨリ延出シ南ニ擴カル其盡頭ハ更ニ左右ニ開キ白神・惠山ノ兩岬ヲナス其間ニ灣入セル海ハ即チ渡島灣ニシテ函館港ハ其灣頭ニ在リ渡島半島ト繪鞆岬トノ間ニハ又一ノ海灣ヲ抱ク之ヲ火山灣ト稱シ或ハ内浦ト呼フ半島ノ日本海ニ面セル處ニ白糸岬ノ突出セルアリ北東神威岬ト相竝ヒテ其間ニ壽都灣ヲ抱ク最後ニ本島ノ東隅ニ至レハ根室灣東ニ向ヒテ開キ納沙布知床ノ兩岬左右ニ突出シテ其兩翼ヲナス

(港津) 港津ノ著名ナルモノ渡島ニ函館(四七伊ヨ)・江差ノ二港アリ函館ハ外國互市場ノ一ニシテ渡島灣頭ニ在リ函館山其口ヲ擁シ四時共ニ風濤ノ患少シ後志ニ小樽港アリ膽振ニ室蘭港(九十切)アリ海軍鎮守府所在ノ軍港ニシテ實ニ北方ノ關門ナリ釧路ニ厚岸港

アリ。根室ニ根室港アリ、皆本道ノ良泊ト稱ス。

(島嶼) 千島列島ト稱スルモノハ、根室灣ノ東方ヨリ斜ニ北東ニ亘リテ、海上三百餘里ニ羅列セル島嶼、大小三十有二個ノ總稱ニシテ、其主ナルモノヲ南ヨリ枚舉スルニ、國後(周回七十一里)・擇捉(百五十三里)・得撫(六十里十六丁)・新知・捨子・古丹・恩福・古丹・幌筵(七十九里十四丁)及占守ノ八島トナス。列島外ノ屬島ハ、概子日本海ニ在リ。

(地勢山岳) 蝦夷島ニハ、南北・東西兩派ノ山脈、十字狀ニ交叉シテ、其地ヲ四箇ノ三角形ニ大別ス。此等ノ三角形地ハ、各海洋ニ向ヒテ開ケ、地勢概子低平ナリ。然レトモ、其境界線タル山脈ハ、峻峻ニシテ、往々高峯ヲ起ス、其最モ著名ナルモノハ、夙ニ蝦夷富士ノ稱ヲ得タル後志ノ後方羊蹄山(八〇〇〇)ニシテ、膽振ノ國境ニ峙チ、山趾遠ク兩國ニ跨レリ。石狩ノ石狩岳ハ、蝦夷島ノ中央最高點ニ位シテ、地勢之

ヨリ漸ク四方ニ斜落ス。其北ニ天鹽岳アリ、南ニ十勝ノ十勝岳アリ、共ニ後方羊蹄山ト高サヲ競フ。此他後志ニハ西部ニ対場岳・積丹山アリ。天鹽ニハ暑寒別山・羽幌山・幌尻山及辨花片山ノ諸山南方ニ連リ、釧路ニハ雌雄ノ兩阿寒岳、國ノ北方ニ聳エ、俱ニ山頂硫烟ヲ吐ク。千島ニハ、アライト島ノアライト岳、國後島ノ茶々岳(七、四〇〇)幌筵島ノフス峯等アリ。

(河流) 河流ノ大ナルモノハ、石狩・天鹽・大津・久壽里及後志ノ五川ニシテ、北海道五大河ノ稱アリ。

石狩川ハ、我邦第一ノ長流ナリ、流程一百十一里餘、源ヲ石狩十勝兩岳ノ間ニ發シ、北ニ流下シテ高サ二百丈餘ノ二大瀑布トナリ、下流深谷ノ間ヲ回流シテ、西ノ方、平野ノ中央ニ出テ、進ンテ、雨龍空地ノ二川ヲ合シテ、南西ニ流レ、石狩港ニ至リテ、日本海ニ入ル。河口ハ幅

四百餘間、鮭魚ノ漁獵盛ナリ。
 天鹽川ハ、本道第二ノ長流ニシテ、流程七十里餘、源ヲ石狩・十勝兩岳ノ間ニ發シ、天鹽ノ南東隅ヨリ北西ニ流レ、進ミテ日本海ニ注ク、本川ハ、其流長ニ比シテハ、灌域狹シ。
 大津川ハ源ヲ十勝岳ニ發シ、十餘ノ衆流ヲ合セテ、十勝ノ中央ナル高野ヲ南東ニ駛セ、下流兩派ニ分レテ太平洋ニ注ク、長サ四十四里餘、久壽里川ハ長サ三十七里、源ヲ釧路ノ北境ナル久壽里沼ニ發シ、南流シテ諸川ヲ合セ、遂ニ釧路港ニ注ク。後志川ハ、源ヲ膽振ノ北境ナル山中ニ發シ、西流シテ後方羊蹄山ノ南麓ヲ繞リ、壽都灣ニ注ク、長サ僅ニ十八里ニ過キサレトモ、其幅殆ト二町ニ近シ。
 (湖沼) 湖沼ノ最モ大ナルモノハ、北見ノ猿間沼(周回凡十八里)ニシテ、根室ノ楓蓮湖、膽振ノ洞爺湖、支笏湖、十勝ノ喜門沼等亦名アリ。

(鑛泉) 本道内鑛泉ノ總數三十餘アリ、然レトモ多クハ山間僻遠ノ地ニ在ルヲ以テ、其名顯ハレズ、其著シキモノハ、渡島最多ニシテ、惠山ニ惠山湯アリ、其近傍ニ河汲湯アリ、後志ノ雷電山腹ニ雷電湯アリ、膽振ニハ登別山中ニ登別湯アリ。
 (平原) 蝦夷島、四箇ノ三角形平原ノ中、日本海ニ面セルモノハ極テ肥沃ナリ。中ニモ石狩河灌域ハ、石狩平原ト稱シ、本邦稀有ノ沃土ニシテ、現今開拓中ニ屬セリ。
 (氣候) 南方太平洋ニ瀕セル地方ハ、北ニ山岳ヲ負ヒ、東南ニ日光ヲ受ケ、且ツ幾分カ温暖ナル赤道洋流ノ影響ヲ蒙ルヲ以テ、氣候温和ニシテ、本州奥羽地方ヨリモ却テ暖ナル處アリ。然レトモ、日本海及オコーツク海ニ向ヘル北西及北東ノ地方ニ至レハ、北方ノ寒風ヲ受ケ、加フルニ寒冷ナル潮流、千島ノ南東及樺太島ノ兩側ニ沿フテ

侵シ來ルヲ以テ、冬期ハ寒威凜烈ニシテ、氷雪地ヲ封スルコト殆ト
半年、夏期ニ至リ百花一齊ニ咲ク。

左ニ本道内測候所ノ實測ニ係ル、温度及雨雪ノ概況ヲ示ス。

測候所	最高温度ノ極	最低温度ノ極	平均温度	雨雪水量	雨雪日數
函館	三三・六	零下二一・七	八・五	一〇八七耗	一七四日
壽都	三三・〇	零下二四・四	八・一	一三〇〇耗	二〇八日
札幌	三四・〇	零下二五・六	七・〇	九八六耗	一八五日
上川	三四・九	零下三六・七	五・一	一一六〇耗	二〇一日
宗谷	二九・四	零下二八・九	五・八	九〇四耗	一六四日
網走	三三・九	零下二一・五	五・八	六三三耗	一三七日
襟裳	二九・六	零下二五・四	七・一	九七六耗	一四七日
十勝	三五・五	零下三〇・〇	五・一	一〇七九耗	一四五日
釧路	三一・六	零下二七・四	五・〇	九八五耗	一五五日
根室	三一・九	零下二一・一	五・九	九五六耗	一五六日

(物産) 本道ハ頗ル山海ノ天産物ニ富ム、魚類ニハ鮭・鱒・鯡・鱒・烏賊・河

豚等アリテ、各地近海ニ群集シ、海獸ニハ千島ノ臘肭・臘虎等其名尤
モ高シ、海草ニハ昆布アリテ、支那貿易品ノ大部ヲ占ム、而シテ函館
天然氷ハ其質純潔、全國第一ト稱ス。又山林ニハ、椴・檜・樺・落葉松等數
百年ノ喬木鬱茂シテ、造船建築ノ良材、用フルニ餘アリ。
鑛物ハ、全道殆ト之ヲ産セサル地ナク、中ニモ石炭ト硫黃トハ、其量
莫大ニシテ、其質極テ優等ナリ。而シテ石炭ハ、石狩國幌内ノ石炭坑
ヲ以テ、採掘最モ盛ナリトナス。本道ニ於ケル明治二十六年中ノ産
出高ヲ示ス、左ノ如シ。

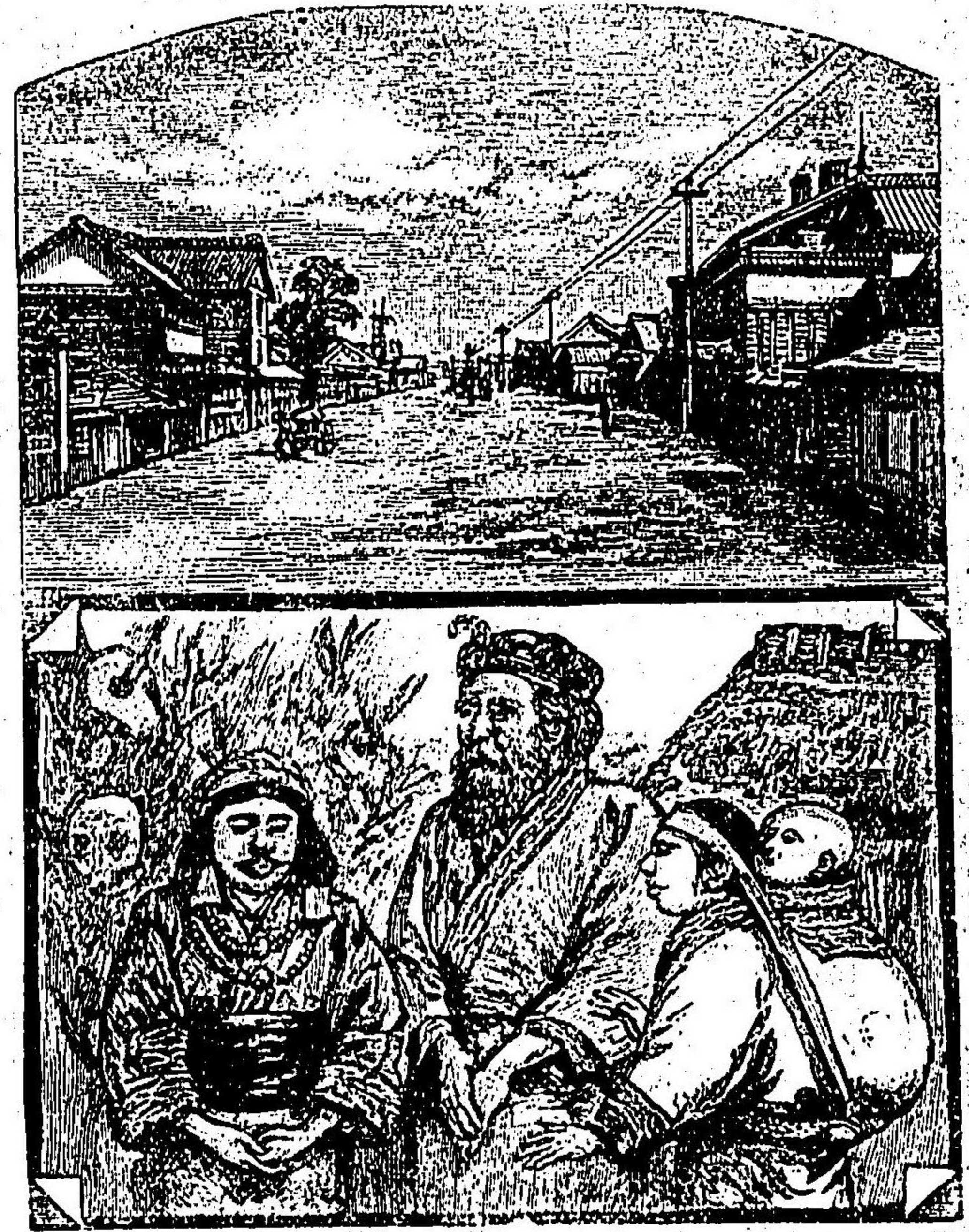
石炭

五六一、〇六〇、七八八斤

硫黃

五、四四六、四八九貫

(都市) 本道中都市ノ最モ盛ナルハ、函館ニシテ札幌・根室之ニ次ク。
函館ハ渡島ノ南部ニ在リテ、渡島灣ノ北岸ニ臨ム、人口六萬餘、開港



圖ノ俗風人土道海北及街市幌札

宮ニ至ル。人口二萬六千餘、農學校・製造所・工作所・博物館及公園等アリ。

場ノ一ニシテ、北海道廳出張所ノ在ル處ナリ。札幌ハ、北海道廳ノ所在地ニシテ、石狩河口ヲ南ヘ距ルコト遠カラス、鐵道ノ設ケアリテ、東ハ幌内炭山ニ達シ、西ハ手

根室ハ根室灣ノ南邊ニアリ、舊北海道支廳ノ在リシ處ニシテ、頗ル樞要ノ地ナリ。然レトモ、函館及札幌本廳トノ交通甚タ不便ナルカ故ニ、市街甚タ繁盛ナラス、人口一萬二千餘。以上ノ外、渡島ノ福山・江差、後志ノ小樽、天鹽ノ留萌、北見ノ宗谷、膽振ノ室蘭、日高ノ浦河、釧路ノ厚岸等ハ、各其國ノ名邑ナリ。室蘭ハ鎮守府ノ所在地ニシテ、炭鑛鐵道ノ起點ナリ。左ニ本道内、現住人口一萬以上ノ都邑ヲ掲ク。

函館	六〇、三八三人
渡島	一一、四五五人
福山	一四、八五四人
江差	二六、〇二二人
石狩	三一、四七二人
札幌	一二、三五八人
後志	
小樽	
根室	
根室	

十一 臺灣

(位置廣袤人口) 臺灣ハ、東支那海ニ横ハレル大島ニシテ、北緯二十一度五十四分ヨリ二十五度十八分ニ至リ、東經百二十度七分ヨリ百二十二度ニ達シ、東北ハ、琉球諸島ニ隣リシ、西ハ臺灣海峡ヲ隔テテ、清國ノ福建省ト相對ス。

島形、長楕圓形ニシテ、南北ノ最モ長キ所九十五里、東西最モ廣キ所三十三里アリ。面積ハ二千五百三十二方里ニシテ、之ヲ九州ニ比スレハ稍狹シ。人口ハ三百萬ニ近シト云フ。

(區劃) 本島ハ一島廳三縣ニ分チ、更ニ十二支廳ヲ置キ、臺灣總督府之ヲ總轄ス。

臺北縣 淡水支廳 基隆支廳 新竹支廳 宜蘭支廳

臺中縣 鹿港支廳 苗栗支廳 雲林支廳 埔里社支廳

臺南縣 嘉義支廳 鳳山支廳 恒春支廳 臺東支廳

澎湖島廳

(海岸港津) 海岸ハ東方太平洋ニ面セル部分ハ、多ク斷崖絕壁ニシテ港灣ニ乏シク、西方一帶ノ海岸ハ、概子淤泥ナルヲ以テ、出入多シト雖モ、碇泊ノ便少ナシ。

本島ノ北岸東方ノ一角ヲ鼻頭岬トイヒ、西方ノ一角ヲ富基岬トイフ、兩岬ノ間危礁亂立シテ、舟行甚タ危險ナリ。

基隆港ハ鼻頭、富基兩岬ノ中間ニアリ、琉球ノ八重山群島ヲ距ル西北凡百二十餘海里ナリ。港内水深キコト二丈、然レトモ、其港門北ニ

向ヒテ開キ、東北風ヲ防クニ適セス、且ツ潮流極テ急ニシテ、船舶ノ

出入ニ便ナラス。本港ヨリ各港ニ至ル海里數ハ左ノ如シ。

長崎ニ至ル 六百三十七海里

清國上海ニ至ル 三百七十六海里

同 福州ニ至ル 百五十海里

富基岬ヲ廻リテ南スレハ淡水港アリ。一ニ八里盆口ト云フ。淡水河ノ河口ニ在リ。港内水淺シ。淡水港ヨリ尙ホ西南ニ廻レハ竹塹港アリ。此港風濤ヲ防クニ宜シケレトモ、水淺クシテ大船ヲ入ルヘカラス。是ヨリ以南ハ海岸屈曲少シ。竹塹港ヨリ南ニ進ミ、本島西海岸ノ中部ニ至レハ、鹿港アリ。臺灣海峽ヲ隔テ、清國福建省ト相對シ、其間ノ距離最モ近キヲ以テ貿易頗ル盛ナリ。

安平港ハ臺南府ノ西北一里許ノ處ニ在リ、良港ニハアラサレトモ、臺北府ニ出入スル貨物ノ揚載地ナルヲ以テ名アリ。輸出品ハ砂糖

ヲ以テ主眼トス。本港ヨリ各港ニ至ル海里數ハ左ノ如シ。

長崎ニ至ル 八百七十海里

英領香港ニ至ル 三百海里

清國上海ニ至ル 六百五十海里

安平ノ東南ニ打狗タカアリ、サラセン岬長ク海中ニ斗出シテ港ヲ成ス、然レトモ、港口狹クシテ大艦ヲ容レ難シ、輸出品ハ安平ニ同シ。

打狗ヨリ東南ノ海岸ハ、平沙遠ク連リテ良港ナシ、漸ク南シテ淡水溪口ニ至レハ、東港アリ、港口船ノ出入ニ便ナルノミナラス、河ニ舟筏ノ便アリ、東港ヨリ南ニ風港フウカ琅嶠ランカウ社寮港シャウカウアリ。是ヨリ以南ハ、海岸、岩石峭立シテ、遂ニ兩岬ニ盡ク、其南岬ハ西岬ト相對シテ、其間ニ一灣ヲ爲ス、之ヲ南灣トイフ、此邊ノ海中暗礁多シ。鼻頭岬ノ南ニ斗出シタルヲ三貂岬ト云フ。是ヨリ蕃地ノ界ニ至ル

マテニ加禮遠及蘇澳ノ二港アリ。其以南蕃地ノ沿岸ハ、崖壁削ルカ
如ク、高サ數千尺ニ達ス。

(島嶼) 澎湖列島ハ、本島ト支那大陸トノ中間ニ位シ、數多ノ島嶼ヨ
リ成ル。其中澎湖本島及白沙島、漁翁島ヲ以テ最大トス。此三島ハ、互
ニ相抱キテ、其間ニ、一港ヲ成セリ、之ヲ澎湖島ト稱シ、艦船三十餘隻
ヲ容レテ尙ホ餘アリ。實ニ全島中第一ノ良港ナリ。

(地勢) 一帯ノ山脈、島ノ中央ヲ南北ニ貫キテ、地勢自ラ東西ノ兩部
ニ分レ、東部ハ到ル所高山峻岳重疊シテ蕃民之ニ棲息シ、西部ハ支
那人之ニ住居シ、土地平坦ニシテ田圃開ケタリ。

(山岳) 山ノ最モ高キモノハモリソン山ニシテ、東部臺灣ノ中央ニ
峙立シ、高サ一萬二千八百餘尺トス、之ニ次クモノヲシルバー山ト
イヒ、東部臺灣ノ北方ニアリテ、高サ一萬一千三百尺、其西南ニ横ハ

ルヲドード山脈トイヒ、北ニ延クヲタンゴウ山脈トイフ。北方ノ山
脈ハ多ク火山質ヲ帶ヒ、紗帽山ノ如キハ高サ三千一百尺ノ所ヨリ
硫氣ヲ噴出シ、山麓温泉多ク、地震亦少カラス。三貂山ハ、基隆ノ南方
ニ在リテ、多ク石炭ヲ産シ、大鷄籠山ハ基隆港ノ背後ヲ繞レル山岳
中ノ最高ナルモノニシテ、往來ノ船舶皆此山ヲ目標トス。

(河流) 本島ハ地形狹長ニシテ、中央ニ山脈アルヲ以テ、河流ノ大ナ
ルモノ少ナシ、其中稍大ニシテ運輸ノ便アルモノヲ、北方ナル淡水
河トス、源ヲ三十餘里ノ内地ニ發シ、鷄籠河及大姑陷河ヲ合セ、北流
シテ海ニ注ク、河口ハ即チ淡水港ナリ。本島大河ナシト雖モ、西部臺
灣ニハ、小川極テ多ク到ル所、灌溉ノ便ヲ得タリ。

(氣候) 本島ハ熱帶ニ近キ故ニ、氣候極テ炎熱ニシテ、春夏ハ雨少ク、
秋冬ハ陰晴交、至リ、一年中八月間ハ東北ノ定期風アリ。

(地味) 地味概シテ膏腴ナリ。殊ニ西部ノ地方ハ、灌溉餘アリ、且ツ降雨ノ氣候ヲ和クルアリテ、頗ル耕耘ニ適セリ。

(植物) 農産物ノ主ナルモノハ茶及ヒ砂糖ニシテ、皆重要ナル輸出品ナリ、而シテ之ニ亞クモノヲ米トス。茶ハ北方ノ高地ニ栽培シ、肥料ヲ施サス、一年七回葉ヲ摘ムヲ得。砂糖ヲ製スル甘蔗及ヒ米ハ多ク南方ノ低地ニ耕作シ、一年二回ノ收穫アリ。又所在森林アリ、樟樹・杉・松・藤・無花果樹・榕樹・烏木・露兜樹等最モ多シ、而シテ樟樹ヨリ製スル樟腦ハ、亦此地ノ主産物トス。其他李・桃・橘・落花生・胡麻・藍・綿花・生姜・西瓜・石花菜等ノ有用植物ノ産出極テ多シ。

(動物) 野生ノ獸類ニテ、鹿・熊・豹・猿・兔・臭猫、家畜ニテ水牛・騾馬・豚・犬・鳥類ニテ鶏・鴨・魚介ニテ海參・牡蠣等ハ皆此地ニ産スル主ナル動物ナリ。

(礦物) 本島到ル處ノ山脈、石炭脈ヲ有セサルハナシ、現ニ基隆港ノ近傍ナル炭坑ヨリ採掘スルモノハ、炭質佳良ナラスト雖モ、其量極テ多ク、價モ亦低廉ナリ。又全島火山多キニ由リテ、硫黄ノ産出夥シク、就中最大ナル硫黄坑ハ、淡水及基隆ノ近傍並ニ此兩港間ノ地方ニ在リ。

(工業) 全嶋各種ノ木材ニ富ムヲ以テ、彫木及織物ノ業ハ、古來土人ノ間ニ行ハル。

(商業) 臺灣ノ貿易港ハ、四アリ、北ニ在ルヲ基隆・淡水ノ二港トシ、南ニ在ルヲ安平・打狗ノ二港トス。此安平打狗ノ二港ヲ合セ稱シテ、臺南港トモイフ。

鐵道ハ、現今僅ニ基隆線凡二十哩、臺灣府線三十哩餘アルニ過キス。電線ハ、清國福州ヨリ淡水港ニ通セル海底電線アリ。陸上ニハ、之ヨ

リ臺北府基隆ニ通シ、及新竹・彰化・嘉義・臺南・打狗等ヲ經テ、安平港ニ
 至ル線路アリ、同港ヨリハ澎湖島ニ通セル海底電線ニ連絡セリ。
 (都府) 臺南府ハ西部臺灣ノ西南部ニアリ、臺灣中最モ早ク開ケタ
 ル土地ニシテ、今我政廳ノ在ル處ナリ。府城ハ方形ニシテ石造ノ壁
 壘ヲ繞ラシ、周回二千五百餘丈アリ。市街ハ道路狹シト雖モ、石ヲ敷
 キテ清潔ナリ、家屋ノ構造亦觀ルヘシ。人口凡十三萬五千トス。
 臺北府ハ西部臺灣ノ東北部ニシテ、府城ハ淡水河ノ上流三里餘ノ
 右岸ニ在リ、嘗テ清ノ臺灣巡撫ノ駐在セシ所ニシテ、今總督府ノア
 ル處ナリ。其城郭ハ方八町許、繞ラスニ石壁ヲ以テシ、城内ニ官衙ア
 リ、軍營アリテ規模宏大ナリ。其西南ニ艚舢ノ市街アリ、北ニ大稻埕
 ノ市街アリ、此處ニハ盛大ナル製茶場アリ、人口ハ城内ト此二市ト
 ヲ合セテ凡四千ト稱ス。



滬尾ハ淡水港、北岸ニ在ル貿易
 場ナリ、戸數千餘戸、稅關・英國領事
 館等アリ、茶・砂糖・樟腦及石炭・木材
 等ヲ輸出シ、綿布・阿片等ヲ輸入ス。
 臺北基隆ハ基隆港ノ南端ニ在リテ、人
 口七萬ヲ有シ、稅關・洋行アリ、輸出
 品ハ石炭ヲ主トス、砲臺アリ。
 市街(住民) 西部臺灣ノ住民ハ、多クハ
 支那ノ東南部ヨリ移住セシモノ
 ナルヲ以テ、風俗ノ如キモ其本土
 ト大差ナシ、只臺南地方ニ至レハ、
 男女共ニ檳榔子ヲ嚙ムノ風アリ。

又島人一般ニ阿片煙ヲ嗜ムコト、支那内地ノ民ニ過クトイフ。
 東部臺灣ニ在ル蕃人ハ、分チテ生蕃・熟蕃ノ二トナス。生蕃ハ其體格
 ヨリ風俗言語ニ至ルマテ、全ク支那人ニ異ナリ、酋長アリテ各部落
 ヲナシ、獸獵ヲ以テ業トナシ、僅ニ農耕ノ一斑ヲ解ス、熟蕃ハ其人種
 亦支那人ニ異ナリト雖モ、一般ニ支那人ノ風俗ニ倣ヒ、且ツ生蕃ニ
 比スレハ、智識較進ミ、專ラ農耕ヲ業トシ、稀ニ貿易ヲナスモノアリ。
 (沿革) 臺灣ハ往古支那ノ所謂荒服ノ地ニシテ、當時未タ支那トノ
 交通アラズ。其後明人顏振泉黨兵ヲ擁シテ、本島ニ據リ、頗ル勢威ヲ
 逞ウセシカ、鄭芝龍其首領トナリ、幾モナクシテ明ニ降リ。又元和ノ
 頃、和蘭人本島ニ來リ、亦城堡ヲ築キテ居リシカ、寬文ノ頃、支那清ノ
 世トナルニ及ビ、明ノ遺臣鄭成功トイフ者、和蘭人ヲ逐フテ本島ヲ
 占領シ、其孫ニ至リテ、又降ヲ清ニ納ル。是ニ於テ本島始テ清國ノ版

圖ニ歸セリ。降テ安政ノ頃、英、米、佛ノ三國ニ迫ラレテ、清國本島ニ貿
 易場ヲ開ク。其後明治七年ニハ、我臺灣問罪ノ出師アリ、同十六年清
 佛ノ戰爭ニハ、基隆、澎湖島皆一タヒハ佛軍ノ手ニ渡リシカ、和成リ
 テ還サル。斯クテ同二十七年日清兩國兵ヲ構フルニ及ビ、清國連戰
 連敗、翌年遂ニ本島ヲ納レテ和ヲ請ヘリ。是ヨリ臺灣全ク我版圖ニ
 歸シ、蕃民亦皇澤ニ浴スルニ至レリ。

中等中地理 日本誌終

版權所有

明治二十九年十月十日印刷
明治二十九年十月十三日發行

中等中地理 全二冊

定價日本誌各金六拾五錢
萬國誌

文學社編輯所刪定

印刷者兼

小林義則

東京市日本橋區本町四丁目

發兌

東京市日本橋區本町四丁目

文學社

關東賣捌
代理店

東京日本橋區通油町

水野慶次郎

關西賣捌
代理店

大阪東區備後町四丁目

吉岡平助

賣捌所

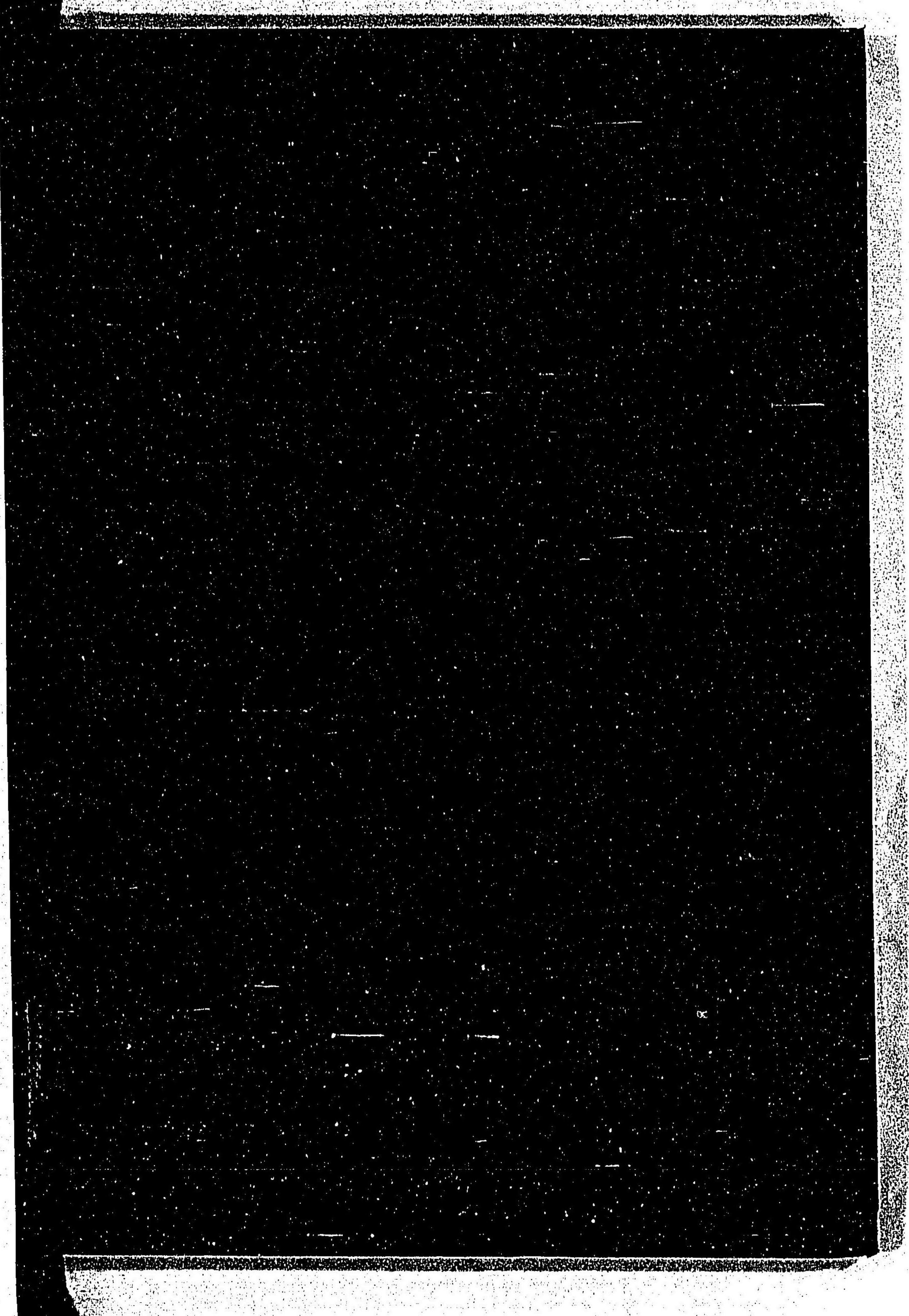
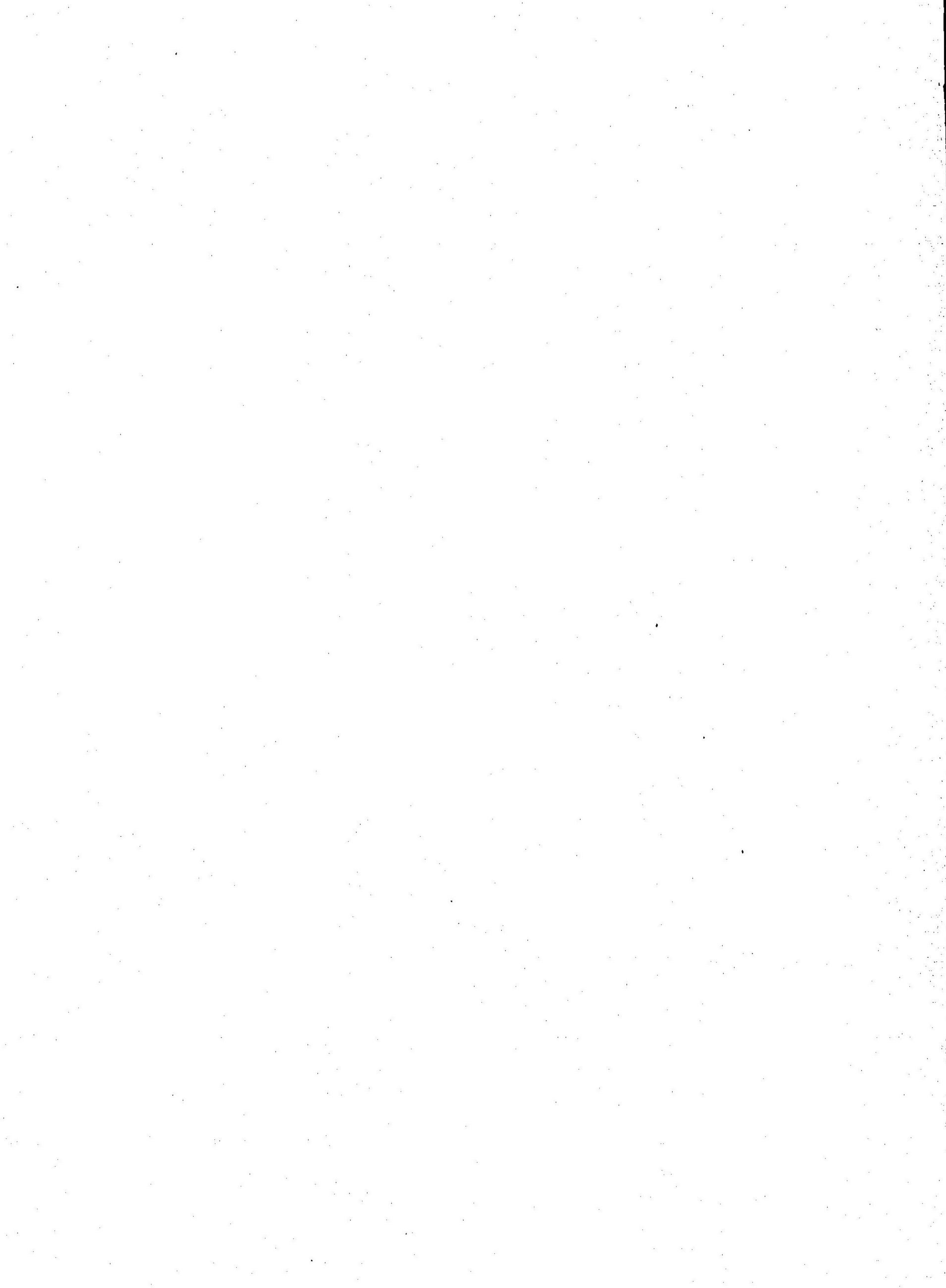
各府縣書店

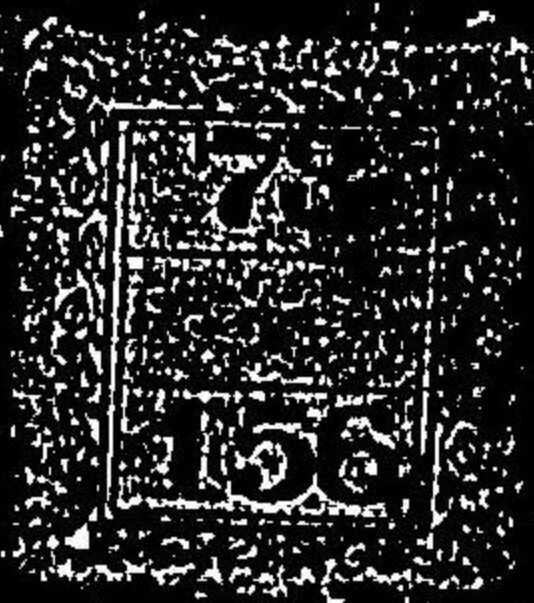
印刷所

東京市京橋區弓町二十四番地

三協合資會社

73
1561





022123-001-4

73-156

中等中地理

中村 五六/編

M29

ADA-0509



